

級に認定します

模範答案

試験場

一年十組

氏名

問一 解答欄

かな	行書	楷書
あ	緑	緑
さ	道	道
ひ	好	好
し	物	物
お	原	原
か	風	風
ぜ	景	景

問二 解答欄

生きとし生けるものにはすべて

個性があり、長所がある。しかも、

無限の可能性を秘めている。この

すばらしい長所、無限の可能性を

伸ばしていけば必ず一隅を照らす

人間になれる。(青田強の文章より)

問三 解答欄

人は何より、経験に学ぶ  
 しかし、経験をどのように生か  
 すか、その学び方次第で、それ  
 ぞれの人生は大きく変わる。  
 だから、経験そのものが貴重  
 なのではなく、そこから何をど  
 のように学ぶか、が肝要なのだ。  
 (森本哲郎著「経験の教えについて」より)

問四 解答欄

蒸之氣 微风

問五 解答欄

箱 ↓ たげかんむり  
 獨  
 郡 ↓ おおざと  
 新  
 輪 ↓ くるまへん  
 交  
 起 ↓ そうじょう  
 紙



級に認定します

試験場

一年二組

氏名

模範答案

問一 解答欄

かな	行書	楷書
あ	緑	緑
さ	道	道
ひ	好	好
し	物	物
お	原	原
か	風	風
ぜ	景	景

問二 解答欄

生きとし生けるものにはすべて個性  
 があり、長所がある。しかも、無限の  
 可能性を秘めている。このすばらしい  
 長所、無限の可能性を伸ばしていけば、  
 必ず一隅を照らす人間になれる。  
 青田強の文章より

問三 解答欄

人は何より、経験に学ぶ。  
 しかし、経験をどのように生か  
 すか、その学び方次第で、それぞれ  
 の人生は大きく変わる。だから、  
 経験そのものが貴重なのでは  
 なく、そこから何を、どのように  
 学ぶかが肝要なのだ。  
 森本哲郎著「経験の教えについて」より

問四 解答欄

蒸之氣  
 微風

問五 解答欄

箱 ↓ たけがんむり  
 郡 ↓ おおざと  
 輪 ↓ くるまへん  
 起 ↓ そうじょう  
 刃 ↓ 独  
 斤 ↓ 新  
 一 ↓ 交  
 糸 ↓ 紙

級に認定します

模範答案

問一 解答欄

試験場
一年H組
氏名

楷書

行書

かな

あ	緑	緑
さ	道	道
ひ	好	好
し	物	物
お	原	原
か	風	風
ぜ	景	景

問二 解答欄

生きとし生けるものにはすべて

個性があり、長所がある。しかも、無

限の可能性を秘めている。このすば

らしい長所、無限の可能性を伸

ばしていけば、必ず一隅を照らす人間

になれる。青田強の文章より

問三 解答欄

人は何より、経験に学ぶ。  
 しかし、経験をどのように生かすか、  
 その学び方次第で、それぞれの  
 人生は大きく変わる。だから、  
 経験そのものが貴重なのでは  
 なく、そこから何を、どのように  
 学ぶか、が肝要なのだ。  
 森本哲郎著「経験の教えについて」より

問四 解答欄

蒸之氣微風

問五 解答欄

獨  
 新  
 享  
 結

箱 ↓ たけかぶ  
 郡 ↓ おおさと  
 輪 ↓ くるまへん  
 起 ↓ そうじょう

級に認定します

前回までの級

2

試験場

二年 一組

氏名

模範答案

問一 解答欄

あーうた  
みよし  
ものば

問二 解答欄

書を学ぶということは、古典の名跡によっ  
て、その用筆法や造形性、書者の精神を  
学ぶことである。歴史に残る名筆を学習  
することを繰り返して技術を向上させ  
鑑賞眼を高めて、表現力を豊かにする  
ことである。「書の手帖」より

問三 解答欄

世間の大部分の人は、わ  
るくなる事を奨励して居るように  
思う。わるくならなければ社  
会に成功しないものと信じて  
いるらしい。たまたま正直な純  
粋な人を見ると坊ちゃんだの  
小僧だのと難癖をつけて軽  
蔑する。  
夏目漱石「坊ちゃん」より

問四 解答欄

杉風水月未足

問五 解答欄

オ 於  
ウ 宇  
モ 毛  
テ 天  
ナ 奈  
シ 之  
ミ 美  
ヒ 比  
ラ 良  
キ 幾

合否印

合

否

初段(1)

模範答案

試験場

二年G組

氏名

問一 解答欄

楷書

行書

四	四
海	海
生	生
春	春
風	風

問二 解答欄

易世載徳不

問三 解答欄

あまみうけらまけしやわらわ

あけ

問四 解答欄

山椒魚は、杉苔や銭苔を眺めることを好まなかった。むしろそれらを疎んじ、えした。杉苔の花粉は、さりげなく岩屋の

中の水面に散ったので、彼は自分のすみかの

水が汚れてしまおうと信じたからである。

あまみうけらまけしやわらわの群れずつ

の徴さえも生えた。徴はなんと愚かな羽白性

を持っていたことであろう。

井伏鱒二「山椒魚」より

期日・平成二十九年七月十七日(月)

会場・延岡総合文化センター

第八回 高校生芸術文化交流会

主催・宮崎県高校文化連盟

後援・毎朝新聞西部本社